



# こんにちは、 岡田よしひでです

2023年2月5日発行  
県議会活動報告ニュース  
NO.156

自宅 南国市浜改田 430-1  
TEL/FAX 865-2932  
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

## 農業とこれからの日本社会

### 長谷川・農民連会長が講演

高知県農民組合の定期大会が31日、高知ホールで開かれ、出席しました。総会の前に、長谷川敏明・農民運動全国連合会（農民連）会長が「農業とこれからの日本社会」と題して講演。食と農業に関心のある組合員以外の方も多く参加されました。

長谷川さんは、島根県の中央部の山あいに位置する邑南町（おおなんちょう）で、米作りと和牛飼育の家族農業を営んでおり、アグロエコロジー（農業生態学）



アグロエコロジー  
生態系の力を生かした持続可能な農林業を

に取り組んでいます。それは、自然の生態系を守り、その力を生かして循環型の有機的な農業をめざすものです。

長谷川さんは、2頭いる牛のエサは稲わらやアゼ草などで自給しています。田んぼの農業は除草剤の一回だけで、肥料は牛糞と落ち葉などを発酵させた堆厩肥（たいきゅうひ）、米ぬか、ウツドボイラーから出た灰を活用しています。自宅では調理以外の給湯や暖房も裏山の雑木や間伐材を燃やしてまかっています。殺虫剤を使わないため、納屋には毎年30力所もつばめが巣をつくり、水田の虫取りをしてくれるそうです。まさに環境と共生する循環型の農業の実践です。世界では、こうした生態系を守る循環型農業が大きな流れになっています。

この長谷川さん宅を、日本共産党の小池晃書記局長が昨年12月末に訪ねて、子牛のブラッシングや、チェーンソーで丸太を切る作業を体験し、地域の酪農家とも懇談しています。牧場で乳牛を飼育する酪農家は、「個人でできることは工夫して努力していますが、経費がどんどん高くなり春以降は先が見えない状態」と語っています。（詳しくは1月15日付しんぶん赤旗「日曜版」に掲載されています）。

長谷川さんは、全国の酪農家に声をかけ、畜産危機の突破をかかげて、昨年11月30日に農林水産省前で緊急行動に取り組みました。若い酪農家の「酪農ヤバイです」の訴えには大きな反響があったといえます。

今回の畜産危機の根本には、飼料・肥料の外国頼みという問題があります。日本の食料自給率は38%です。種子や肥料の大半を外国に依存しています。外国頼みの農業を変えなければなりません。1980年頃の国の予算では農林水産業が3.7兆円、軍事費が2.5兆円でした。ところが2023年度予算案は農業予算は2.3兆円で軍事費は6.8兆円と逆転しています。

長谷川さんは、農業を守る運動を、消費者と一緒に広げることが大事だ、農民連としては「アグロエコロジー宣言」をしようと議論していると語りました。

## おむすび通信 (156)

2023年度高知県農民組合大会は、新組合長に土佐市の藤田洋生さんを選出。私は副組合長の一人に選ばれました。前組合長の土居篤男さん、浜田勉さんは顧問になりました。私は全国の農家の運動がわかる農民連の発行する新聞「農民」を愛読しています。